

令和4年 6月22日
名城大学工学部 社会基盤
デザイン工学科
国土交通省中部地方整備局

名城大学の学生が最新のインフラ DX を学びます！ ～ 6年目を迎える『学生のためのICT講座』今年も開催します ～

中部地方整備局では、建設現場の生産性向上・労働者不足など、現在「建設産業」が直面している様々な課題に対応するため、平成28年度より i-Construction を推進し、そのトッランナー施策の1つである、ICT 施工の普及・拡大に努めているところです。

その一環として、平成29年度から管内の高校・高専・大学の学生を対象とした出前講座を、中部 i-Construction 研究会と協力しながら実施しており、令和4年3月末までの5年間で、延べ24校の約1400名が「学生のためのICT講座」に参加していただいております。

将来の建設業界を担う若者に、建設業界への興味・関心をより一層持っていただくことを目的に、このたび名城大学の学生を対象に、地上型レーザースキャナーの実演などの講座を開催します。

※ i-Construction：国土交通省が実施している「建設現場の生産性革命」の取り組み

※ ICT：情報通信技術（Information and Communication Technology）

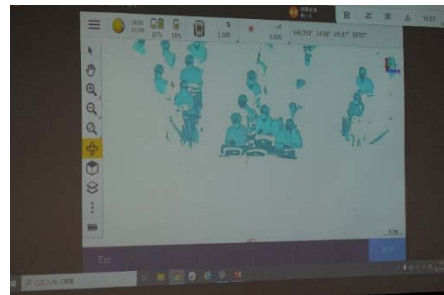
※ 地上型レーザースキャナー：レーザーを連続的に照射（千～数百万回/秒）し、3次元データを取得する装置

1. 開催概要

- 1) 日時：令和4年6月28日（火） ① 13:30～14:50
② 15:00～16:20
- 2) 場所：中部インフラDXセンター(中部技術事務所構内)
- 3) 参加者：名城大学 学生38名、院生・教授等5名 合計43名
- 4) 講座内容：「学生のためのICT講座 プログラム(案)」参照【別紙-1】
- 5) 主催者：中部 i-Construction 研究会（中部地方整備局 企画部 施工企画課）



建設ICTの専門家による講義



地上型レーザースキャナーの実演

※写真：名城大学でのICT講座の状況(令和2年度)

2. 添付資料

- 【別紙－1】 学生のためのICT講座 プログラム(案)
- 【別紙－2】 取材登録票
- 【別紙－3】 中部インフラDXセンター施設紹介
- 【別紙－4】 学生のためのICT講座チラシ

新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、開催内容の変更や、中止する場合がありますため、必ず事前登録をお願いします。

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ

4. 取材申込 当日取材を希望される報道関係者様は、令和4年6月27日(月)12:00までに、必要事項を記載した「【別紙－2】取材登録票」をメールにて送付して下さい。

5. 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 企画部

建設情報・施工高度化技術調整官 はせがわ つよし 長谷川 強

建設専門官 はせがわ ひろまさ 長谷川 公政

中部 i-Construction 研究会 事務局(企画部施工企画課)

TEL 052-953-8180

E-mail cbr-ict@mlit.go.jp

学生のためのICT講座 プログラム（案）

日 時：令和4年 6月28日（火） ①13：30～14：50

②15：00～16：20

場 所：中部インフラDXセンター(中部技術事務所構内)

■ 1回目

○ 13：30～13：35 【挨拶】

○ 13：35～13：50 【座学】

講座名 中部地方整備局におけるインフラDXの取り組み

講師 中部地方整備局 企画部 技術管理課 室長 長谷川 強

○ 13：50～14：45 【座学・実演】

講座名 ICTを活用した測量技術について

講師 (株)シーティーエス 中山 俊彦

※ (一社)日本建設機械施工協会会員，中部 i-Construction 研究会会員

講義室内で地上型レーザースキャナーを用いた測量のデモンストレーションを予定

○ 14：45～14：50 【質疑等】

■ 2回目

○ 15：00～15：05 【挨拶】

○ 15：05～15：20 【座学】

講座名 中部地方整備局におけるインフラDXの取り組み

講師 中部地方整備局 企画部 技術管理課 室長 長谷川 強

○ 15：20～16：15 【座学・実演】

講座名 ICTを活用した測量技術について

講師 (株)シーティーエス 中山 俊彦

※ (一社)日本建設機械施工協会会員，中部 i-Construction 研究会会員

講義室内で地上型レーザースキャナーを用いた測量のデモンストレーションを予定

○ 16：15～16：20 【質疑等】

※学生等43名を2班に分け、講義のない時間は1階体験エリアにてVRやAR技術を体験していただきます。

備考（報道関係者様へ）

- 新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、開催内容の変更や、中止する場合がありますので、必ず事前登録（FAXまたはメール送信）をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当日の体調管理や、マスクの着用、手指消毒、事前の検温等、感染拡大防止にご協力ください。
- プログラムの時間は目安であり、前後する場合がありますので、ご了承ください。

「学生のためのICT講座」取材登録票

- 取材を希望される報道機関におかれましては、事前のご登録をお願いします。
登録は本登録票に記入いただき、期限までに下記へメールにて送付下さい。
- 取材希望の状況等により、人数を調整させていただく場合があります。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため換気等の対策に努めておりますが、取材にあたりましては、マスクの着用、手指消毒、事前の検温等ご協力をお願いします。

送付先 中部地方整備局 企画部 施工企画課

E-mail : cbr-ict@mlit.go.jp

送付期限 6月27日（月）12時

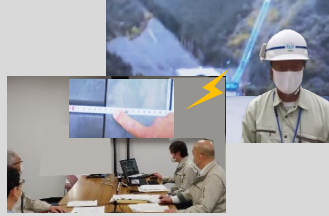
（下記にご記入の上、メールにて送付をお願いします）

報道機関名
ご氏名 ㊦㊧㊨
予定人数 人
連絡先（電話番号） — —

「中部インフラDXセンター」では、現場と連携してバーチャル体験が可能な環境とデジタル機器を整備し、これらをインフラ分野で活用できる優秀な人材の育成に取り組んでいます。

1階 体験エリア

遠隔臨場体験



現地と離れた会議室を通信で結び、ウェアラブルカメラを用いた、会議や検査を想定した体験ができます。

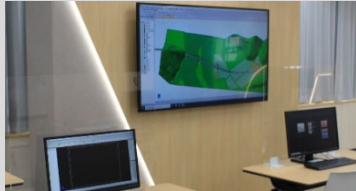
遠隔操作技術の紹介



危険な場所などにおいて離れた安全な場所から、遠隔で建設機械を操作する技術を紹介しています。



3次元設計技術の紹介



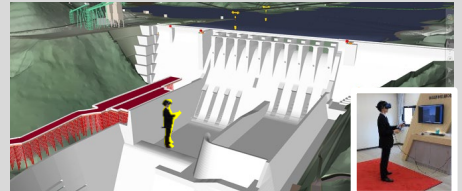
3次元の設計ソフトが使えるPCがあり、3次元設計データを触る体験や活用事例の紹介をしています。

AR(拡張現実)体験



現地で簡単に図面などのデータ確認ができる体験として、埋設物が風景と重ね合わせて表示される端末の体験ができます。

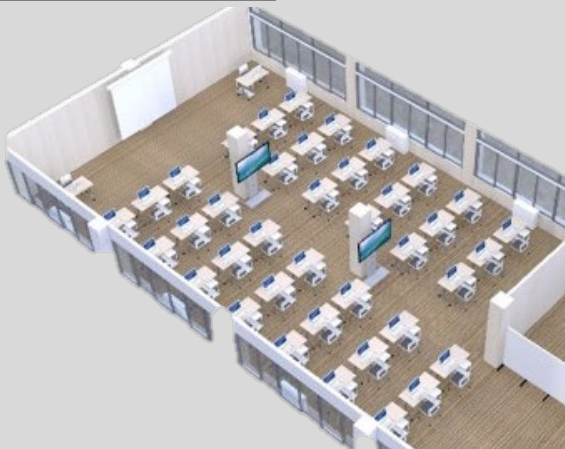
VR(仮想現実)体験



3次元設計データで作られた空間へ入る体験ができます。不具合の有無や完成イメージの確認、安全対策の検討などの体験ができます。

2階 研修エリア

インフラDX研修



3次元の設計ソフトが使えるPCや大型モニター、スクリーンのある研修スペースです。(研修用PC40台程度設置)

【所在地】

〒461-0047 名古屋市東区大幸南1丁目1番15号（中部技術事務所構内）
 ※地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」で下車、1番出口より徒歩1分

【問い合わせ】

国土交通省 中部地方整備局

中部技術事務所 技術活用・人材育成課

電話番号：052-723-5704

URL：<https://www.cbr.mlit.go.jp/chugi/dx/yakuwari/index.html>



* 学生のための

ICT講座

随時
募集

建設現場の未来はここに！！

国土交通省が推進する*i-Construction*

建設現場の技術革新を体験しよう！

学生のためのICT講座 カリキュラム例

【座 学】

- ・ 建設業界を取り巻く話題と最新の建設ICTについて
- ・ ドローン・レーザスキャナを用いた最新の測量技術について
- ・ ICT建設施工と衛星測位
- ・ 現場で活躍するICT建設機械

**随時
募集**

【実機デモ】

- ・ 地上レーザスキャナ（TLS）



【問い合わせ窓口】

中部i-Construction研究会 事務局

国土交通省 中部地方整備局 企画部 施工企画課

〒460-8514 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

[TEL] 052-953-8180

[E-mail] cbr-ict@mlit.go.jp